

文書分類番号	00	09	03	002	永年	起案	平成	年	月	日	決裁	平成	年	月	日
議長	副議長	局長	副主幹	係長	担当	担当							文書取扱主任		

第44回 総務文教常任委員会 会議録

開催年月日	平成26年12月19日(金曜日)	開会 16時00分	閉会 16時30分
開催場所	第一委員会室		
出席委員	大谷、井上、渡辺精郎、水口、渡邊龍之、柴田	事務局	菊井事務局長
欠席委員	なし		和田副主幹
説明員	別紙のとおり		
議件	別紙のとおり		
議 事 の 概 要	1. 所管からの報告事項について		
	次の事項について所管から説明を受け、質疑を行い、全て報告済みとした。		
	(1) 滝川スポーツセンターの改修計画について		
	(2) サイクリングターミナルの廃止について		
	2. その他について		
	なし。		
	3. 次回委員会の日程について		
	正副委員長に一任することに決定した。		
	上記記載のとおり相違ない。 総務文教常任委員長 大谷 久美子 ㊟		

平成26年12月17日

滝川市議会議長 水口典一様

滝川市長
滝川市教育委員会委員長

前田康吉
若松重義

総務文教常任委員会への説明員の出席について

平成26年12月12日付け滝議第163号で通知がありました総務文教常任委員会への説明員の出席要求について、次の者を説明員として出席させますのでよろしく申し上げます。

なお、公務等の都合により出席を予定している説明員が欠席する場合がありますので申し添えます。この場合、必要があるときは、所管の担当者を出席させますのでよろしく申し上げます。

記

滝川市教育委員会委員長の委任及び滝川市長の委嘱を受けた者

教育部長	舘 敏 弘
教育部次長	河 野 敏 昭
教育部社会教育課長	景 由 隆 寛
教育部社会教育課長補佐	吉 住 晴 美
教育部社会教育課係長	田 村 拓 也

(総務部総務課総務係)

第44回 総務文教常任委員会

H26. 12. 19 (金) 午後4時00分
第一委員会室

○ 開 会

○ 委員長挨拶 (委員動静)

1. 所管からの報告事項について

《教育部》

(1) 滝川スポーツセンターの改修計画について

(資料) 社会教育課

(2) サイクリングターミナルの廃止について

(資料) 社会教育課

2. その他について

3. 次回委員会の日程について

○ 閉 会

第44回 総務文教常任委員会

H26.12.19 (金)16:00~

第一委員会室

開 会 16:00

委員長 第44回総務文教常任委員会を開会いたします。

委員動静報告

委員長 それでは、委員動静ですが、全員出席しております。傍聴として清水議員、木下議員が出席しております。北海道新聞の傍聴を許可します。

1. 所管からの報告事項について

委員長 1、所管からの報告事項について、(1)、滝川スポーツセンターの改修計画について、(2)、サイクリングターミナルの廃止について一括して説明を求めます。

(1) 滝川スポーツセンターの改修計画について

(2) サイクリングターミナルの廃止について

景由課長 (別紙資料に基づき説明する。)

委員長 説明が終わりました。

質疑ありますか。

渡 辺 スポーツセンターと体育センターが一括ということになりますと、市民や学校関係、中体連や高体連などのいろいろなスポーツの競技があるわけで、そういうものに対して、2年間は通常の営業形態はなり得ないのは当然ですが、そういうところの学校の使用などは全然できないと考えてよろしいでしょうか。

景由課長 工事の内容にもよりますが、想定では工事期間は使えないということで、片肺での運営、片肺になった部分については、中央児童館を初めとする市内の体育館を利用するというように考えています。スケジュールについては各小中学校と緊密な連携をとって立てていきたいと考えています。

委員長 ほかに質疑ありますか。

渡 邊 体育協会の財産で設立するときに基本財産というものを積み立てて財団になっていますが、これは建物だけの譲渡という考えでよろしいでしょうか。

景由課長 基本的に建物のみですが、加えて体育利用をするときの備品についてもあわせて無償譲渡いただきたいと考えています。

渡 邊 耐震化から改修というスケジュールがあり、こういうスパンはよいと思いますが、本当にどういうプランニングを持って進めるという部分が、現時点で出すというのは無理かもしれませんが、現時点において、社会教育課で考えているプランニングはあるのか伺います。

景由課長 具体的なプランニングについては、青年体育センターの最低限の耐震改修は具体的にしていますが、後段のリニューアルの部分に関しては、必要な箇所については押さえておりますが、全体的にどういう形になるかは市民の皆さんのご意見をいただきながらと考えております。

渡 邊 体育センターの建物も築五、六十年になると思いますが、あれを本当に耐震化しなければならない施設という解釈なのか伺います。

景由課長 耐震診断の結果をもちまして、耐震性がない施設であるという認識であります。耐震改修をしなければならない施設でございます。

渡 邊 スポーツセンターと体育センターは、機能的にできるというのはわかりますが、あの広さでこれからスポーツセンターの工事に入ったときに、中央児童館など

で賄いきれるのか心配している部分があります。体育センターそのものも耐震化をするのも必要だけれども、もう少し変えるというか、設計上でできる範囲で、床を取り外して、人工芝にするとかという発想や観覧席も外してどうかとか、そういう考えはあるのか伺います。

景由課長

あそこを2館にするのか1館にするのかというのは、当然計画を立てるときには検討を進めたところであります。滝川の優位性を考えたときに、ほかのまちはサブアリーナということで、観客席のない真四角い閉塞感のある体育館しかないのですが、滝川は古いながらも観客席があつて、広さが870平米ほどの体育館はあるのですが、あそこは単体で大会が行えるということが、やはり優位性になっているなど。芦別と比べても広さは遜色ないというところですので、2館の集積を崩してまではというところは考えていません。

渡 邊

体育協会の寄附行為というのは、一財からの部分で変わっていくことはあるのでしょうか。

景由課長

北海道ともやりとりさせていただいて、基本的には公益目的資産が基本財産の部分なのですが、基本財産の部分を公益目的事業を行うことで、減らしていきなさいということで、資産がなくなるわけですから、正式に一般財団法人になる期間が短く、早くなるということでございます。

委員 長

ほかに質疑ありますか。

(なしの声あり)

委員 長

それでは、報告済みといたします。

2. その他について

委員 長

2、その他について、委員から何かありますか。

(なしの声あり)

委員 長

事務局から何かありますか。

(なしの声あり)

3. 次回委員会の日程について

委員 長

3、次回委員会の日程については、正副委員長に一任願えますか。

(異議なしの声あり)

以上で第44回総務文教常任委員会を閉会いたします。

閉 会 16:30